

研修開始から15年：1/25～韓国の高校生20名来日

イ ス ヒョン
李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修
新大久保駅で亡くなった李秀賢氏の遺志をついで

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)関西国際センターでは、2001年にJR新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして尊い命を落とした、韓国人留学生の李秀賢(イ・スヒョン)氏の遺志をついで、将来、日韓の架け橋を目指す韓国の高校生を2002年から毎年招へいしています。研修開始から15年目を迎える本年も、未来の日韓友好を担う希望に溢れた20名の研修生が1月25日に来日し、12日間の研修に臨みます。李秀賢氏の命日である1月26日には、同氏のご両親とともに新大久保駅で追悼・献花を行います。

研修中は、この他、故人の母校である赤門会日本語学校訪問や同氏のドキュメンタリー映画「かけはし」の完成披露試写会に参加し、李秀賢氏の功績を顧みると同時に、将来の日韓関係について若者の視点から考える機会とします。また関西では、立命館大学や大阪府立佐野高校で日本の若者と交流し、日本社会・文化への理解を深めます。

本研修は今回で第15回目の節目を迎え、これまでに約280名の修了生を輩出してきました。この中には本研修をきっかけにさらに日本との結びつきを強くしたいとの思いを持つ修了生も多く、大学で日本関係学科に進んだり、日本での留学や就職などを実現させ、両国の架け橋となって活躍しています。

訪問日程の詳細、ご取材については、お問い合わせください。(訪問先には公共の施設も含まれるため、ご取材の際には事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。)

【期間】: 2016年1月25日(月)～2月5日(金)の12日間 ※1月25日～27日は東京滞在
【主要日程】:
 1月26日 JR新大久保駅での追悼・献花(東京)
 赤門会日本語学校訪問(東京)
 ドキュメンタリー映画「かけはし」完成披露試写会参加(東京)
 30日 駐大阪韓国文化院訪問(大阪)
 2月1日 立命館大学国際関係学部との交流(京都) ほか
【協力機関】:
 学校法人新井学園 赤門会日本語学校、特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会
 立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校、駐大阪韓国文化院



<JR新大久保駅での追悼・献花>



<赤門会日本語学校訪問> (昨年の研修生)

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金関西国際センター 教育事業チーム (担当:小野寺、東)

Tel: 072-490-2601 / E-mail: Kento_Onodera@jpf.go.jp 、 Keiko_Azuma@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp